

令和3年7月30日

たつの市長 山本 実 様

地方独立行政法人
たつの市民病院機構評価委員会
委員長 松田 貴典

地方独立行政法人たつの市民病院機構令和2事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）に対する意見について

標記のことについて、地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会の意見は、下記のとおりです。

記

1 市の評価に対する意見

令和3年7月6日、たつの市民病院機構評価委員会をたつの市役所新館において開催し、令和2事業年度業務実績に係る法人の自己評価並びに市の検証に対して、審議を行った。

評価結果（案）については、評価委員会の審議を踏まえ、各委員から出された見識が適切に反映されていることから、意見はありません。

2 総評意見（メッセージ）

法人は、これまで一丸となって経営改革を推進して、高い成果を上げてきている。令和2事業年度の業務実績関連書類及び評価結果（案）は、広範かつ細部にわたって定量的、定性的に分析・検証・評価がなされ、数値を見れば法人の努力が伺えるものとなっており、評価システムとしては十分に機能している。

一方、医療とは、医療を通して社会にどれだけ貢献できたかということであり、市民病院であれば、市民がより健康な生活を維持できたか。その後ろ盾に市民病院になることが、最も重要である。

今般の新型コロナウイルス感染症対応をみても、医療スタッフが昼夜を問わず身を粉にして最前線で戦っている姿は、十分すぎる社会貢献である。

医療は、数値だけでは評価しきれないマンパワーに支えられていること、また、そのことに自信をもって、今の市民病院の姿勢を貫けばおのずと評価がついてくる。

心ある医療を実践し、市民から愛される病院になってもらいたい。